二代しじろう通信 その4

絵と文・さくらいようへい

豊島一族なのだ!!

今回は善福寺公園の近くに西荻にもお城があったという「善福寺城」についてふんわりレポートです。

一体だれのお城だったの？

荻父平氏の流れを汲み、都内の北西部を支配していた豪族。14世紀後半には石神井城（今の石神井公園）に拠点を置き、敵対する上杉勢の家宰・太田道灌（おおたどうかん）と戦いをくりひろげました。善福寺城は石神井城の支城として豊島氏の防衛ラインの一翼を担っていたようです。

え!? お城があったんだ!

幻のお城

善福寺城のなぞ

お城のはっきりした位置は特定できませんが、善福寺池東側の丘の上にあったと伝えられているようです。

どこにあったんだろう

豊島氏と道灌のいくさはどうなったの

いくさ上手で知られた太田道灌の前になすべもなく善福寺城は陥ち、井草地域一帯には道灌の陣がしかれました。1477年（文明9年）4月、石神井城の落城とともに豊島一族は滅亡の運命をたどります。豊島氏とともに滅んでいった中世城郭。在りし日のお城を想像しながら、お散歩してみたらいつもとは違う景色が見えるかもしれません。

水源の確保、防衛ライン（堀）としての川。高台という立地。

まさにお城がたつにふさわしい場所だったんだね。

太田道灌

江戸城つくったのもわしだよ。